



# 渡島地方本部ニュース

発行  
自治労渡島地方本部  
執行委員長 川村 哲也  
〒041-0806  
函館市美原4-6-16  
TEL 0138-34-2357  
FAX 0138-34-2358

## 自治労北海道本部第119回中央委員会開催



6月6日(金)北海道自治労会館にて、第119回中央委員会が開催された。今中央委員会では、鹿部町職労の伊藤中央委員が議長に選任され議事を進めた。

冒頭、山上執行委員長から今春闘の情勢報告や、給与の総合的見直しの問題等、原発推進や靖国神社参拝等、右傾化する政権の危険性に言及があった。



本中央委員会では、2014国民春闘中間総括(案)や当面の闘争方針(案)等が審議された。

渡島地方本部からは、4本の発言があり、七飯町労連の小林中央委員からは、七飯町長選挙では、情勢が厳しいなか、道本部・連合・渡島地本・管内の単組の全面的協力のもとで勝利することができた。



今後は自治労組織内町長と、より良い職場環境となるよう労使関係を構築していくとの力強い発言があった。

北斗市職労の樋口中央委員からは道本部青年部としての報告があり、若い組合員のなかには、「独自削減は仕方ない」、「人事評価制度は、業務量に見合った待遇として導入してほしい」などの声があり、改めて学習の必要性を感じている。各単組の基本組合に対し、青年部の学習についての協力を要請するとの発言があった。



また、青年部副部長としての経験を、単組の運動に繋げていくと力強い発言がされた。

函館交通労組の前田中央委員からは、2050年には75歳以上の後期高齢者が人口の4分の1になること予想されることから、北海道知事に対し交通問題や高齢化社会にどのような考えや施策があるのか、制度政策要求をもとめていきたいとの発言があった。

渡島地方本部柴田書記長からは、公共民間労組の今春闘のたたかいでは、いずれの単組も継続的に交渉を行い、数年振りに、ベースアップや新たな手当を勝ち取るなど取り組みの結果が出ている。

交渉によって勤務労働条件の改善を図っていく、公共民間労組のたたかいに学びながら自治体単組は、しっかり交渉をしていくことが必要である。

七飯町長選挙では、厳しいながらも、管内の市町からの応援体制を組むなかで、渡島地本全体でたたかいを構築した。来年の統一選挙に向けて今後も渡島地方本部全体で取り組んでいくとの発言がされた。

最後に、今日確認した方針に基づき全体でたたかうことを確認し、団結ガンパローで今中央委員会を終了した。

本中央委員会にて、議長を務められました鹿部町職労、伊藤中央委員におかれましては、大変お疲れさまでした。

今こそ、  
「万国の労働者は団結せよ！」

